

住民意識の違いが生んだ災害対応の差

- 2004.7.13 新潟豪雨災害 -



被災前 2001.7



被災後 2004.7.23

47

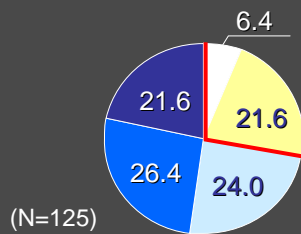
水防活動の効果（土のう積み）



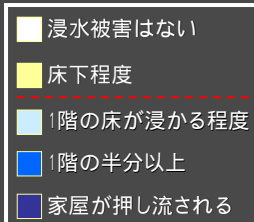
48

水害以前の水害に対する意識

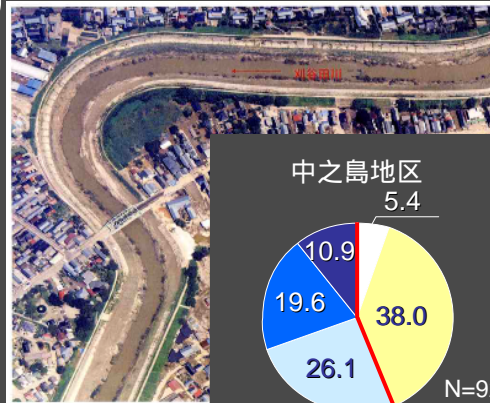
『自宅がどの程度の浸水被害を受ける危険性があると思っていたか？』



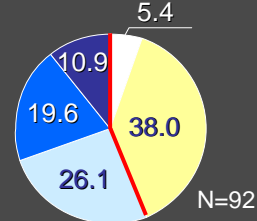
(N=125)



見附市今町地区



中之島地区

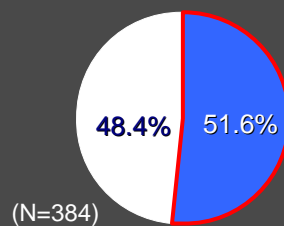


N=92

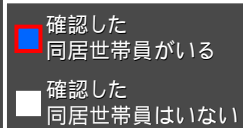
49

水防活動への参加率

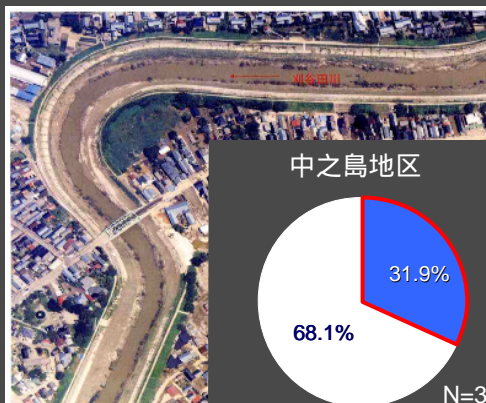
川から水があふれそうな状況を確認した世帯員はいるか？



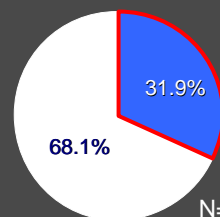
(N=384)



見附市今町地区



中之島地区

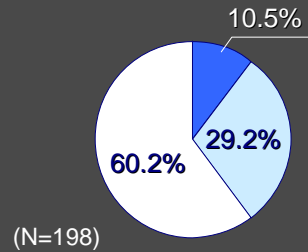


N=395

50

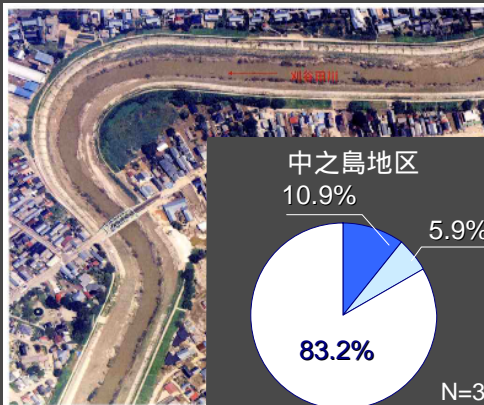
水防活動への参加率

水防活動に参加した世帯員がいるか？



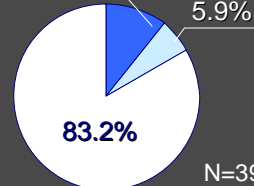
(N=198)

見附市今町地区



中之島地区

10.9%



N=395

51

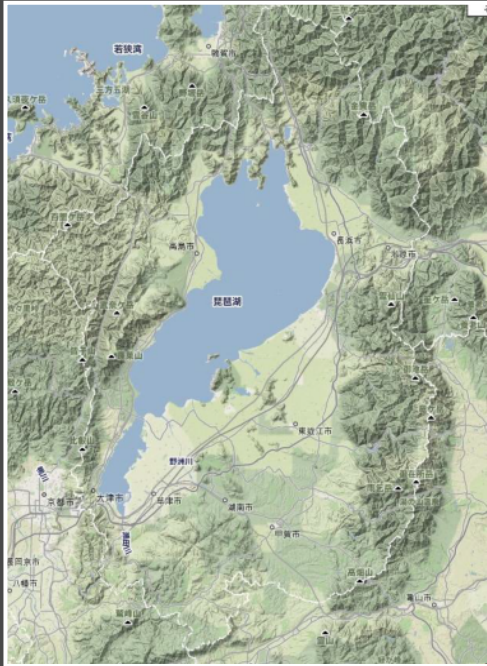
- 水防団・消防団員として参加した
- 個人として参加した
- 参加しなかった

土砂災害危険地域における 災害リスクコミュニケーション

- 群馬県みなかみ町での取り組み -



52



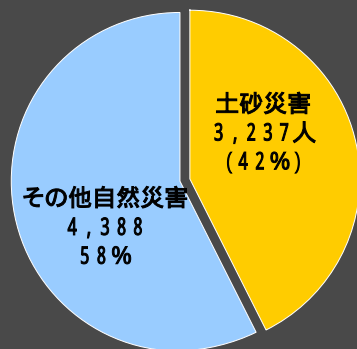
土砂災害危険箇所 (滋賀県) 4,910箇所

- ・土石流危険渓流：2,129
- ・急傾斜地崩壊危険箇所：2,719
- ・地すべり危険箇所：62

53

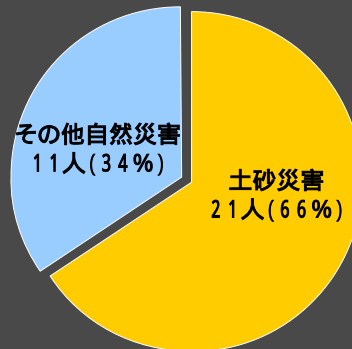
自然災害による死者数

昭和42年～平成17年



(阪神・淡路大震災における死者・行方不明者数を除く)

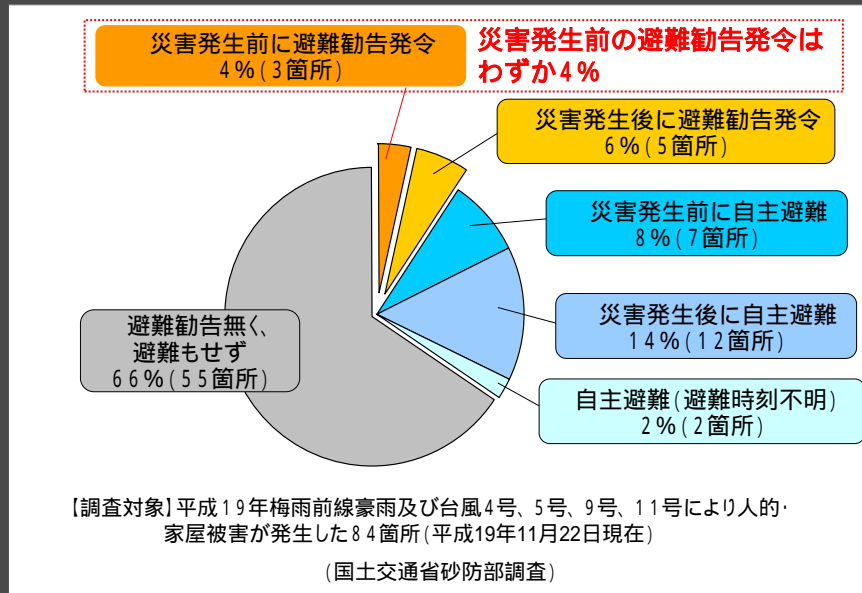
平成18年梅雨前線豪雨
(6/22～7/31)



各年の死者・行方不明者のうち、全自然災害については防災白書(平成18年版)による。土砂災害については国土交通省砂防部調べ

54

土砂災害発生の時間予測の難しさ



55

土砂災害に関する情報

【行政】

「いつどこで土砂災害が起こってもおかしくない」という
位置・時間を特定しない状況情報を伝え、避難を呼びかける

【住民】

位置・時間が特定されない災害に対する避難を要求される
当事者感・切迫感が乏しくなる
避難はより難しくなる

56